

# 平成27年度みえスタディ・チェック

三重の子どもたちの学力の状況については、全国学力・学習状況調査の結果において、3年連続で全国平均を下回るなど、その結果を厳しく受け止めています。

三重県教育委員会では、子どもたち一人ひとりが、今、求められている学力をしっかりと身に付けることができるよう、学力向上に取り組んでいきたいと考えています。

その中で、子どもたちが主体的に学習に取り組む意欲を育むとともに、授業改善や個に応じた指導等につなげるための取組の1つとして、「みえスタディ・チェック」を実施しています。

## 一学校では一

昨年度から、「みえスタディ・チェック」を実施し、授業改善や指導の充実に活用しています。

本年度は、次のように実施します。

## みえスタディ・チェックの実施

### 目的

- ・児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育む。
- ・学習指導要領の趣旨や内容に基づき、児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業改善及び個に応じた指導の充実等、各学校が組織的かつ継続的なPDCAサイクルを確立し、子どもたちの学ぶ意欲や学力の向上のための取組を促進する。

### 概要

学習指導要領に基づく、各教科の目標及び内容に即した、「主として活用に関する問題」を中心に、その後の学習や実生活において不可欠な知識・技能等に関する問題も一定の割合で出題します。

実施日	：	10月21日（水）
対象学年	：	小学校4・5年生、中学校1・2年生
実施教科	：	国語、算数・数学、理科
実施時間	：	小学校 1教科40分間 中学校 1教科45分間

※小5・中2のみ、平成28年2月3日（水）に国語、算数・数学で実施します。

「みえスタディ・チェック」って  
どんな問題こんな問題

＜平成26年度10月実施 小学校第5学年・国語より＞

メモの内容を捉え、話し合いの場での意見として二十字以内の適切な言葉で、解答することができるかを問う問題です。

① 千葉さんのクラスでは、雨の日の教室内での過ごし方について、次の二つのグループに分かれて、話し合いになりました。

○家からトランプを「持ってきてよい」と考えるグループ  
○家からトランプを「持ってくるべきではない」と考えるグループ

それぞれの理由をまとめた次の二つの「メモ」と「話し合いの内容」を読んで、あとの問いに答えましょう。

【家からトランプを「持ってきてよい」と考えるグループのメモ】  
「たたく人がいっしょに遊ぶことが出来る。」  
「雨が降ると教室を走り回ることがなくなり、安全にみんな楽しく遊べる。」  
「準備や後片付けに時間がかからない。」

【家からトランプを「持ってくるべきではない」と考えるグループのメモ】  
「雨の日は、靴をぬぐいたり、本を濡らしたりして遊ぶことができません。」  
「勉強に必要な物は学校に持ってこないといいから、トランプを持ってこなくていい。」  
「トランプのカードをなくした時に、どうするかが問題になる。」

② 「話し合いの内容」の [ ] には、どのような言葉が当てはまりますか。【家からトランプを「持ってきてよい」と考えるグループのメモ】をもとにして、二十字以内で書きましょう。

話し合いの内容

千葉さん わたしたちのグループでは、雨の日に家からトランプを持ってきてよいと考えます。その理由は、トランプは、たたく人がいっしょに遊ぶことができるので、雨が降ると教室を走り回ることがなくなり、安全に楽しく遊ぶことができるからです。

石川さん わたしたちのグループでは、雨の日に家からトランプを持ってこなくてはいけないという結論になりました。なぜなら、勉強に必要な物は、学校に持ってこないといいからです。トランプを持ってこなくていい。靴をぬぐったり、本を濡らしたりして遊ぶことができません。それに、トランプのカードがなくなったら、どうするかが問題になると思います。

千葉さん たしかにそういう問題もあるかもしれませんが、靴をぬぐったり、本を濡らしたりするのは、少しにくいと思います。

当該問題結果

正答率 52.6%  
無解答率 5.3%

Q & A

Q1 「みえスタディ・チェック」の結果は、子どもたちや保護者にどのような形で返してもらえるのでしょうか？

A1 それぞれの結果は、「個人票」として学校から渡してもらいます。

そこでは、教科毎の正答数等の他、各設問の結果やアドバイスが示されます。

また、県教育委員会では、県内児童生徒の平均正答率の分布状況も公表しますので、お子さんの結果と県全体とを比べて、現在の学習内容の定着状況が把握できます。

この「個人票」を参考に、お子さんだけでなく、家庭でもお子さんの学習状況を把握していただくことができ、家庭学習の参考にしていきたいと考えています。

Q2 実施後、どのように役立ちますか？

A2 「みえスタディ・チェック」は、子どもたちが前年度までに、身に付ける必要のある知識・技能の定着とともに、これらを活用する力をみるテストです。実施後、それぞれの子どもたちに結果を返しますので、これを受けて、自らの学習の成果や課題が確認できます。

その後、子どもたちが、学習の見通しや目標を立てて、主体的に学習に取り組むことができることを目指しています。

＜編集・発行＞ 平成27年7月発行  
三重県教育委員会事務局  
学力向上推進プロジェクトチーム  
〒514-8570 津市広明町13  
TEL 059-224-2931  
FAX 059-224-3023  
本リーフレットは、三重県教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。ご利用ください。  
(<http://www.pref.mie.lg.jp/KYOIKU/HP/>)